

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(八光グループ 株式会社八光電機)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与し、研修の実施や相談窓口などを設けている。												5.1 5.2 5.5									16.1 16.2 16.7							
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、研修実施や相談窓口などを設けている。													5.1 5.2 5.5								16.1							
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			勤怠管理システム導入による時間管理を徹底し、勤務体制の整備・対応を図っている。																												
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人の雇用については、実績があり差別、人権侵害という概念なく自然体で対応している。会社の戦力、働く意欲があれば活躍してもらえる場はあるという認識でいる。				4.4																								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生委員会を設置し、リスクアセスメント等により労働環境の整備に取り組んでいる。 また、定期的に安全パトロールを行っている。													3															
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			方針と計画を策定し職場の理解を促進、メンタルヘルス不調者に係る休職・復職に関する規則等を整備。専門カウンセラーによる定期的なカウンセリングを実施。													3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備を進めている。														5.1 5.5			8.5					10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			年間を通じて社内、社外セミナー各種教育訓練を実施している。														4	5.5													
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う。															5.5							10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			外部講師を招き衛生講義を行っている。																			3			8						
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類・量・排出ルート等を管理記録している。ISO14001取得済み。プラスチック付属品削減商品の開発や提供を実施している。																					11.6 12.4	14.1						
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・省エネ法特定事業者の為、資源エネルギー庁へ毎年定期報告を行っている。																						13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・省エネ法特定事業者のため、資源エネルギー庁へ毎年中长期計画の提出を行っている。 ・省エネ推進委員会を置き省エネ計画を策定し推進 ・法令で規制されている有害化学物質を把握し、リスクアセスメントを行い適切な使用に取り組んでいる。 事例として社内向けHPに科学物質リスクアセスメント詳細を提示している。																								7.2 7.3		12.4 13.3		
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本																									3.9				6.3		

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・場内排水処理場の測定・分析・管理を行い、生態系に悪影響を及ぼさないように監視している。 ・水質検査は県の基準を遵守。									6.6									15			
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・廃棄物の分別、削減を図り、資源の適切な利用を推進している。													12.5		14.1						
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・場内排水処理場の測定・分析・管理を行い、生態系に悪影響を及ぼさないように監視している。 ・水質検査は県の基準を遵守。									6.4 6.6												
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			ISO14001取得済み(電機)			3.9					6	7					12	13.3	14	15				
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			HPIに環境活動行動を掲示														12.6							
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			ソーラーパネルを設置									7.2						13						
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																		12.2	13	14	15			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			法令順守を守るようコンプライアンス規定に明記し、相談窓口などを設けている。																			16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			事実上徹底されているが、明文化は今後検討課題。																			16		
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			専任の部署にて調査・取得・管理に取り組んでいる。												8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報の取扱いについて、法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守するとともに、「個人情報保護責任者」を設置し、適切な管理を行っている。																			16		
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・輸出入等、取り扱うケースにより確認を実施している。																			16		
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ										5			8				10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			パートナーシップ構築宣言を作成公表している。			3								8	9	10							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
全員参加型地域貢献活動 (地域清掃等)	地域貢献活動実施。 2020年未実施⇒2030年定期的に実施する。				4					9		11	12		14	15		17
中長期的にエネルギー消費原単位を低減させることを目標とする	エネルギー使用原油換算 [(kI)÷売上(千円)] を年平均1パーセント以上 2020年：対前年比 102.4% 対2020年比10%削減							7.2 7.3					12.4	13.3				

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定